

# 9月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
りんご類		6,025	平年並	5,964	276	95%	265	732	12.1%	<p>本年は前年より1週間ほど開花が遅く、スタートも遅れるが、8月下旬には長野・山形産の「つがる」の入荷が始まっており、9月になれば青森産もスタート。現状着色も問題無く順調に出てくる。28年産の冷蔵品も当初見込みほど残量が多くなさそうなことから、8月下旬には量販店等の売り場も新りんごに切り替わってこよう。小玉比率高いために平均価格は若干前年を下回る可能性あり。</p>
日本なし類		10,002	やや少ない	10,338	262	100%	262	21	0.2%	<p>梅雨明け以降の曇雨天続きで生育は遅れ気味。8月盆前の出回り量も当初計画より少なく、入荷減・価格高の状況が下旬にかけても継続された。9月の中心品種は「豊水」「あきづき」となるが、上旬までは「幸水」もまとまった数量が出回ろう。前年は残暑も厳しく、なしの販売には好条件で売れ行きは良好であった。本年も気温は高めの予報となっており、前年同様に売れ行きは良いと見込まれる。</p>
かき類		2,676	やや多い	2,501	350	100%	336	0	0.0%	<p>ハウス物は9月上旬で奈良・和歌山県ともに終了となる。その後、露地物の「西村早生」の販売が始まるが、福岡・岐阜県とも小玉傾向である。「刀根早生」については昨年より出荷はやや遅くはなるが、ピークは9月下旬からで昨年と似たところはある。肥大状況はあまり良くはなく、小玉でL中心、価格は昨年並みかと思われる、各品種ともに小玉傾向のため価格は若干安値基調。</p>
ぶどう類		4,838	多い	4,803	849	101%	745	517	10.7%	<p>前年は生育が早く出荷も順調に進んだが、本年は前年より遅く平年並みに推移している。山梨県産は「種無し巨峰」「種無しピオーネ」ともに生育遅れがあり、9月に販売がずれ込んでいる。長野県産も平年並みに推移し、9月中旬からピークに入る。岡山県産は生育順調で前年並みの出荷を予定しており、シャインマスカットは前年より多い。ぶどうの季節となり、全体に出荷量・販売数量は中旬～下旬が多くなる。</p>